

山 形 県

山形県ってこんなトコ

さくらんぼの里、もう一つの日本「やまがた」

山形県は、東北地方の日本海側に位置し、東京から概ね北に 300km、山形新幹線で約 3 時間の距離にあり、一般には、全国生産量の 7 割を占める「さくらんぼ」と鮮やかな四季で知られています。

蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、南から連なる米沢、山形、新庄の各盆地と庄内平野を「母なる川」、最上川が流れる、美しい自然に恵まれた地域です。ここでは、人の住む集落、市街地と農地や里山が綾をなし、自然と人間が調和して存在する、「もう一つの日本」が広がっています。

江戸時代、俳聖・松尾芭蕉は「奥の細道」の全行程 156 日のほぼ三分の一にあたる 43 日間を山形県で過ごし、その旅は出羽三山を目指した「心の旅」とも言われるように、いにしえの昔から、山形県は精神文化の地とあがめられてきました。

全国第 9 位の 93 万 ha の県土面積は、その地勢や江戸時代の幕藩体制のなごりから、方言や食べ物など、文化も少しずつ異なり、南から、置賜(おきたま)、村山(むらやま)、最上(もがみ)、庄内(しょうない)の 4 つの地域に大きく区分されています。

(HP より転載)





山形県の獣医師職員

◇山形県の獣医師職員の配属先◇

1	防災くらし安心部	食品安全衛生課	3名
		食肉衛生検査所（置賜・庄内） （山形市派遣2名含）	25名
2	健康福祉部関係	健康福祉企画課	1名
		保健所（4カ所） （山形市派遣1名含）	13名
3	農林水産部関係	衛生研究所	3名
		畜産振興課	3名
		家畜保健衛生所 （中央、最上、置賜、庄内の4カ所）	41名
		畜産研究所	3名
		養豚研究所	1名
合 計			93名

獣医師 — ヒトと動物の「生命」を科学的に見つめるスペシャリスト —

獣医師の職務は幅広い分野に及びますが、いずれの職務もヒトや動物の「生命」や「健康」と密接な関係にあります。具体的な職務には、畜産に関係する分野として、家畜の伝染病の予防や家畜疾病等の病気の診断【家畜保健衛生所】、家畜・家禽の改良および研究等【畜産研究所、養豚研究所】や、公衆衛生に関係する分野として、食品衛生の確保や動物愛護の普及啓発【保健所】、人獣共通感染症の研究等【衛生研究所】、と畜検査【食肉衛生検査所】があります。いずれも獣医学で培った技術や知識を大いに発揮できる職務内容です。近年、全国あるいは全世界的に問題となっているCSF（豚熱）・ASF（アフリカ豚熱）、牛海綿状脳症（BSE）や高病原性鳥インフルエンザ、そして口蹄疫などの対策で中心的な役割を果たしているのは獣医師であり、今後も幅広い分野での活躍が期待されています。また、獣医師を配置した研究施設が畜産、公衆衛生の分野ごとに設置されており、研究施設以外の職員に対しても各種研修制度が設けられ、学会等への参加も盛んです。

山形県の獣医師の職場



<<山形県の獣医師の募集に関するQ&A>>

Q:令和3年度の獣医師の受験案内はいつ出るの？

A:5月7日に公開されました。インターネットで検索、ダウンロードができます。
また、「やまがたe申請」上でインターネットによる受験申込ができます。
山形県ホームページ
<https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/saiyosikentop/index.html>

Q:給料はどうなるの？

A:山形県に採用された獣医師の初任給は、**約25万円**(月額3万円の初任給調整手当を含む)となりますが、ほかに、家畜保健衛生所又は食肉衛生検査所勤務の場合、**16,000円~24,000円**が「給料の調整額」として支給されることとなり、年収(県人事課試算)でみると、全国上位となっております。

Q:どんな職場があるの？

A:大きく農林水産部関連職場と健康福祉部・防災くらし安心部関連職場があります。具体的には、家畜保健衛生所・畜産研究所・養豚研究所、保健所・衛生研究所・食肉衛生検査所などがあります。
ちなみに、山形県職員として活躍している獣医師は、93名(令和3年4月1日現在)です。

Q:夏休みなどに、そちらの職場を見せていただけますか？

A:大歓迎です。日程や希望に合わせて調整をいたしますので、是非御相談ください。お待ちしております。家畜衛生対策推進協議会(事務担当:中央畜産会)が行っている行政体験研修(インターンシップ)の受入れも行っています。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、インターンシップ等の受入れが出来ない場合がありますのでご了承ください。

連絡先:

農林水産部畜産振興課(県庁内)	023-630-3350	担当	高橋齊史
防災くらし安心部食品安全衛生課(県庁内)	023-630-2677	担当	的場洋平

<<給与・福利厚生(山形県獣医職)>>

○初任給^{*}(R3.4.1 現在)

衛生研究所	275,800 円
食肉衛生検査所	274,100 円
家畜保健衛生所	266,100 円
畜産研究所	257,000 円
養豚研究所	257,000 円
上記以外	250,100 円

※月額 30,000 円を限度とした初任給調整手当、職種に応じた調整額を含む。
他に住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、扶養手当等の諸手当が要件に応じ支給されます。



○期末・勤勉手当(ボーナス R3.4.1 現在)

6, 12 月に計 4.35 月分

○健康管理

各種健康診断
メンタルヘルス

○休暇関係(一部抜粋)

土、日、祝日休み(カレンダー通りの休暇)

有給休暇 年 20 日(最大 20 日繰越可:合算 40 日)

夏季休暇 年 6 日(7~9 月に取得)

リフレッシュ休暇 5 日(30, 40, 50 歳になる年)

リフレッシュ年休 3 or 5 日(35, 43, 47, 53, 56 歳になる年)

結婚休暇 7 日

育児休暇 最大 3 年(1 歳まで育休手当金あり)

男性職員の育児参加休暇 5 日

家族看護休暇 年 5 日

忌引休暇 最大 10 日



山形の んめもの(美味しいもの)



さくらんぼ



ラフランス



板蕎麦



山形牛

■獣医師の職場■ ■ 家畜保健衛生所



平成27年度採用
白鳥孝佳 獣医師
(現：中央家畜保健衛生所)

担当業務(庄内家畜保健衛生所当時)

庄内家畜保健衛生所では、家畜の伝染病の予防のための検査や、飼養管理についての指導、疾病や伝染病の診断、獣医事に関する業務を行っています。その中で私は防疫担当として、伝染病の検査や農場に立入っての指導等を行っています。

県職員を志望した理由は何ですか？

獣医師として真っ先にイメージするのはやはり臨床だと思います。実際、私も卒業後は小動物臨床の道へ進み、その後、現職に就きました。しかし、獣医師の職域は多岐にわたり、公務員獣医師はその中の一つです。

家畜の健康、食の安全・安心を守る公務員獣医師は、生活の根幹を支えており、目に見えないところでも多くの人の役に立っています。どこかのだれかの笑顔につながる、そんな仕事に魅力を感じました。

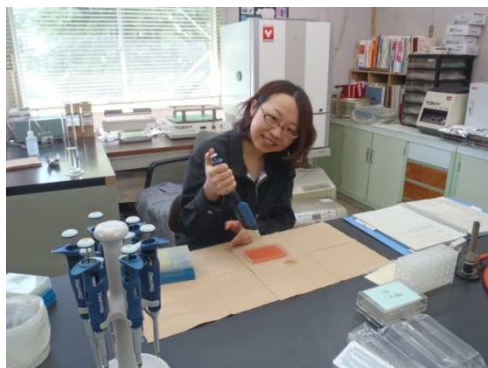
受験者へのメッセージ

獣医師としてこういった職に就こうか悩んでいる方も多いと思います。山形県の公務員獣医師には様々な職歴の方がおり、研修制度も整っているので、だれでも職場になじみやすい環境にあります。また、休暇制度や福利厚生がしっかりしているので、公私ともに充実させることができます。

ここには書き切れない山形の公務員獣医師の魅力がまだまだ沢山あります。皆さんとともに山形で働ける日を心待ちにしています。

- | | | |
|-------|-----------|-------------------------|
| 8:30 | 業務開始 | (日程確認、立入準備を行います) |
| 9:00 | 農場へ出発 | (農場へ向かいます) |
| 9:30 | 農場到着、立入検査 | (農場で聞き取り、指導、検体の採材を行います) |
| 12:00 | 家保帰着、昼休憩 | (午後の英気を養います) |
| 13:00 | 検査開始 | (午前中に採材した検体の検査を行います) |
| 16:00 | 文書整理 | (検査に関係する文書を作成します) |
| 17:15 | 業務終了 | |

■獣医師の職場■ ■ 家畜保健衛生所



平成26年度採用
土谷真実 獣医師
(置賜家畜保健衛生所)

現在の担当業務(置賜家畜保健衛生所)

私が勤務している置賜家畜保健衛生所では、家畜の伝染性疾病の発生を予防するための検査・指導、不明疾病の原因究明、動物薬事に関する調査・指導、公共牧場の放牧衛生管理指導などを行っています。私は防疫担当として、家畜を飼養している農家の衛生指導や、ヨーネ病、牛白血病、オーエスキー病など様々な病気の検査を行っています。

採用後1年経過し思ったこと

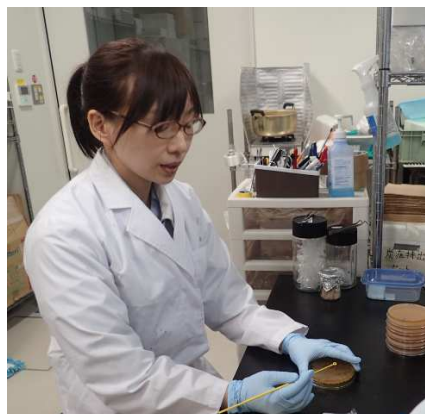
私は家畜保健衛生所の仕事については大学時代にインターンシップに行くまでほとんどといっていいほど分かりませんでした。その後家畜保健衛生所に勤めた知り合いから話を聞いたりしてなんとなく仕事内容を掴んだつもりで就職しましたが、いざ採用されて働き始めてから、こんなにも仕事内容が広い職場だったんだと驚きの連続でした。すべての作業が初めてで、家畜にも触れ慣れていなかったため不安でいっぱいでしたが、職場の上司の方々、更には農家の方々からたくさん助けていただいてあっという間の1年間でした。

これからは、今までより余裕を持って、広い視野で責任感を持って仕事をしていきたいと思っています。

受験者へのメッセージ

獣医師の職域は多岐にわたっていますが、その中でも県の獣医師は、家畜伝染病予防及びまん延防止、そして食品の安全に関わる、なくてはならない仕事を担っています。農家さんや市町村の方々など様々な人とも接し、多くの経験を積むことができます。また、福利厚生も充実しており、女性にとって安心して長く働き続けられる職場だと思います。ぜひ山形県で一緒に働きましょう！

■獣医師の職場■ 家畜保健衛生所



(病性鑑定担当)

平成16年度採用

大橋郁代 技術主査

現在の所属と担当業務(中央家畜保健衛生所)

中央家畜保健衛生所は蔵王連峰が見渡せる山形市にあり、獣医師16名と庶務担当2名の計18名で構成されます。県内4か所ある家畜保健衛生所の中で唯一、細菌・ウイルス・生化学・病理の4部門の精密検査を行う病性鑑定施設を有し、山形県内の96ヶ月齢以上すべての死亡牛のBSE検査も行います。この中で現在、私は細菌検査業務を担当しています。細菌分離培養や抗体検査はもちろんのこと、迅速かつ高感度な診断法として遺伝子検査等を利用し、家畜の細菌性疾患の原因究明・診断を行っています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

県職員獣医師としての魅力は仕事の幅の広さにあると思います。家畜保健衛生所だけでも検査業務の他に、家畜伝染病のサーベイランスを通して地域全体の清浄化を進めたり、畜産農家さんとの触れ合いを通して慢性的な感染症を減らす手伝いをしたり、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫の対策や動物病院開設届の受付など、フィールドや検査室から法律に関わる事務まで多様な業務があり、いつも新鮮な気持ちで取り組みます。公務員として出産や育児へのフォローが手厚く、長女が病気がちだった頃などは想像以上に有り難く感じました。

細菌担当はまだ駆け出しですが、思うように検査が進まないときに文献を参考にして解決できたときなど1人ささやかな喜びを感じています。変わっていく持ち場で新たな仕事を一つ一つ体験していけることも大きな楽しみだと思っています。

受験者へのメッセージ

大学で学んだ知識と技術が役に立ち、獣医学が実学だと実感できる、やり甲斐のある仕事です。一緒に楽しく仕事をしましょう！

■獣医師の職場■ 食肉衛生検査所



平成27年度採用
福士昂 獣医師
(庄内食肉衛生検査所)

現在の担当業務(庄内食肉衛生検査所)

私が所属している庄内食肉衛生検査所では、安全な食肉の流通の確保のために、牛や豚等の家畜を対象とした「と畜検査」を行っています。

私は検査指導課に所属しており、と畜場や付設の食肉処理施設に対する衛生指導業務、調査研究業務や検査で得られた疾病データを生産者等に還元する業務などを担当しています。

県職員になって思うこと

山形県獣医師として、庄内食肉衛生検査所に配属され1年が経過しました。職務の一つに「と畜検査」という仕事があります。と畜検査は、食肉となる豚や牛等を一頭一頭検査して合格したものだけを流通させる、言わば関門のような重要な存在です。私は、山形県衛生獣医職員として働いてから人間の生活に必要な「食」について様々な視点で考えることができ、私たちの仕事が消費者の安全確保や安心の醸成につながっていることを身近に感じることができました。初めての社会人で不安なことはたくさんありましたが、上司や先輩の支えのおかげで安心して仕事に取り組むことができます。と畜検査は常に責任を問われる仕事ですが、とてもやりがいのある仕事だと思います。

受験者へのメッセージ

公務員獣医師は大学で学んだ様々な専門的知識が活かされていることを肌で感じられる世界だと思います。また、休暇制度や福利厚生が充実しているので、計画的に自分の趣味の時間を作ることもできます。山形県には豊かな大自然の恵みを受けた四季を味わえる美味しい食材がいっぱいあります。公務員獣医師がどのような仕事をしているか分からない方もいらっしゃると思います。まずは、山形県のインターンシップ制度を利用して職場の雰囲気を感じてみてください。皆さんと一緒に山形県で仕事をできる日を楽しみにしています。

■獣医師の職場■ 食肉衛生検査所



平成26年度採用
菅井 透 獣医師
(現：庄内家畜保健衛生所)

現在の担当業務(庄内食肉衛生検査所当時)

庄内食肉衛生検査所では、消費者に安全で衛生的な食肉を提供するため、と畜場に搬入された牛や豚等の家畜が食肉になるまで1頭ごとにと畜検査を行い疾病排除に務めるとともに、と畜場内の衛生監視指導も行っております。私は試験検査課に所属しており、主にと畜検査業務、細菌検査及び食肉の安全性向上のための調査研究を行っております。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

公衆衛生獣医師というと試験室内検査や事務的な仕事をやっているイメージが強かったのですが、と畜検査の仕事は、1日の半分以上現場に立ち、家畜1頭1頭を頭と体をフル活用して検査しています。前職(小動物臨床)とは全く異なる環境に、当初不安はありましたが、経験豊かな先輩方の熱心なサポートのおかげで安心して仕事に取り組むことができています。また、この仕事を通じてこれまで以上に様々な人達と関わる事ができ、「食の安全・安心を守る」という以前とは違う視点で社会と関わる事で学ぶことは多く、やりがいのある充実した毎日を送っています。

受験者へのメッセージ

私は民間の動物病院で小動物臨床の仕事を経験した後に、36歳で山形県職員に転職しました。獣医師の職域は非常に広く、臨床以外にも社会に役立つ仕事がたくさんあります。公衆衛生獣医師もその1つです。現在の職場には、私以外にも小動物臨床に携わっていた人や研究職に就いていた人など様々な経歴の先輩がおり、これから大学を卒業する方はもちろん、転職を考えている獣医師の方も安心して働ける職場です。ぜひ、山形県で一緒に働きましょう！！

■獣医師の職場■ 保健所



平成31年度採用

片桐謙 獣医師

(庄内保健所)

担当業務

私は庄内保健所で衛生獣医師として、主に食品衛生業務、狂犬病予防業務、動物愛護業務を担当しています。

食品衛生業務としては、飲食店（旅館、食堂、居酒屋等）、食品販売施設（魚、肉、乳等）、食品製造施設（菓子、そうざい等）の開設相談、申請受付、立入検査等を行い、施設の基準を満たしているか等を確認しています。食品関係業者や一般消費者に対して食品衛生講習会も行っています。

狂犬病予防業務としては、飼い主が見つからない犬の捕獲や、飼い主に対する登録・狂犬病予防注射の指導等を行っています。

動物愛護業務としては、飼い主が諸事情で飼えなくなった犬、猫の引取り、負傷動物の保護、動物取扱業者（ペットショップ等）への監視指導等を行っています。収容された犬、猫は、譲渡判定を行い、新しい飼い主へ譲渡しています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

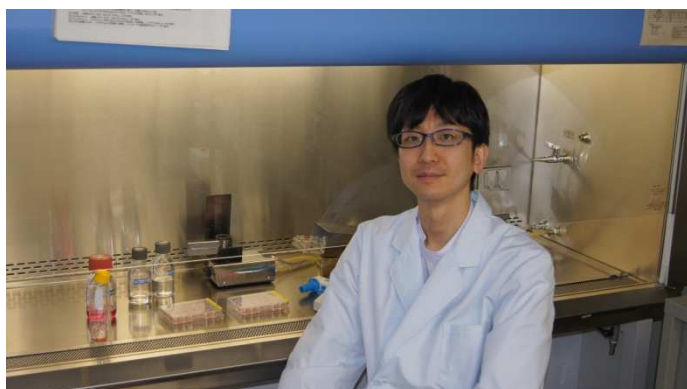
保健所における獣医師の業務は主に公衆衛生分野にあたります。獣医学の中ではどうしてもマイナーに捉えられがちな分野なのですが、食品営業施設の衛生監視や、食中毒事件発生時の調査・対応などの業務を通して、臨床の現場では得られない、県民の方々の健康を支えているという充実感を感じることができる点が魅力的だと思います。

また、保健所における獣医師は、食品衛生業務の他に動物愛護・管理業務も行います。動物病院にて怪我や病気の動物が必死に救われている一方で、全国では飼い主の身勝手な事情で飼えなくなった健康な犬・猫が多く処分されているのが現状です。近年、これらの殺処分を少なくしようと環境省、各自治体、動物愛護団体が殺処分を減らそうと努力しています。このような状況の中で、保健所で勤務する獣医師として、最前線で飼い主に対する飼い方指導、動物取扱業者に対する適正な取り扱いを指導することで、命を救うことができることに非常にやりがいを感じます。

受験者へのメッセージ

公務員獣医師は一か所の職場のみに勤務するのではなく、数年に一度転勤があります。そのため、臨床分野から公衆衛生分野まで、自分が持っている獣医師としての知識・技術を余すことなくフルに活用することができます。様々な分野で活躍できる獣医師を目指してみませんか？皆さんと一緒に仲間として働けることを期待しています！

■獣医師の職場■ 衛生研究所



平成21年度採用

的場洋平 専門研究員

(現：県庁食品安全衛生課)

現在の担当業務(衛生研究所当時)

私が所属している微生物部ウイルス担当では、医療機関がウイルス感染を疑った患者検体の検査（ウイルス培養、遺伝子検査など）や、ウイルス性食中毒疑い事例の検査などを行うことで、県内におけるウイルス感染症/食中毒の動向把握を行っています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

大学時代の微生物学的知識を最大限に活かして、各種検査・分析を行う日々はとても充実しています。加えて、公衆衛生を担う衛生研究所としては、単に与えられた検査を行うだけではなく、それらデータをまとめて世に公開することも大事だと思っています。インフルエンザ、麻しん、結核、つつが虫病などの様々な感染症に関する論文を継続的に世界に発信している先輩方（2016年度は論文10本報告）に倣（なら）い、私もいわゆる風邪の原因ウイルスの1つである「コロナウイルス」の研究を進め、3年間で4報の論文を出すことができました。ゆっくりではありますが確実に成長している自分を感じられる衛生研究所微生物部は、私にとって本当に大切な場所です。

また、最近ではジカ熱や各種ダニ媒介感染症などの動物由来感染症が問題になってきていることもあり、微生物部では、実験室からフィールドに飛び出して動物由来感染症に係る検体（マダニ、野生動物の血液など）を採取・解析することも行っています。「なぜ、獣医師がヒトの感染症をするのか？」とお思いの方もいるかもしれませんが、私は、獣医学的・微生物学的専門知識を有する獣医師は、衛生研究所にとって欠かせない存在であると確信しています。

受験者へのメッセージ

「地方公務員になって、獣医学部で勉強したことが役に立つの？」と疑問に思っている方、全く心配は要りません。ものすごく役に立ちます。また、微生物部の先輩には、地方公務員として働きながら（給料をいただきながら）学位を取得した方もいます。「地方公務員」は、より高みを目指したいと思っている学生さんにとっても魅力的な就職先です。

さあ、山形県のために、そして日本、世界のために私たちと一緒に働きましょう！

■獣医師の職場■ 農業総合研究センター 畜産研究所



(旧畜産試験場)

平成24年度採用

丹 恵 研究員

(現：庄内食肉衛生
検査所)

担当業務(畜産試験場当時)

畜産試験場には、家畜改良部(肉牛)・飼養管理部(乳牛と地鶏)・草地環境部の3つの部があり、研究員17名のうち獣医師が6人所属しています。

畜産試験場の役割は、「農家のためになることを試験研究し、還元すること」です。

私の所属していた飼養管理部では、乳牛約40頭と鶏約1000羽を飼養し、日々それぞれの研究にいそしんでいます。例えば、乳牛に給与する餌によって牛乳の味はどう変わるのか、地球温暖化の影響が乳牛にどのように現れるのか、県産地鶏である「やまがた地鶏」のおいしさの向上と飼料費節減はどうすれば良いか…などなどテーマは多岐にわたります。

また、家畜改良部では、先端技術を活用した山形牛のブランド強化を目指し、美味しい牛肉を生産するための技術開発に関係する研究を実施するとともに、優良種雄牛の造成、凍結精液および体外受精卵の生産供給などの事業を行っています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

畜産試験場の良さを一言で表現するとすれば、「自分で試験研究する家畜を毎日見ることができること」に尽きると思います。自分で選んだ種雄牛を交配して生まれた子牛は、たった2年で驚くほど大きく成長し、分娩して生乳を生産します。牛1頭ごとに餌の好き嫌いがあったり、時には調子が悪くなったり、試験研究でさまざまな反応を見せたり、その変化を自分で毎日見て触って考え、そして自分で考えたことを行動に移すことができる、これほど幸せな職場はないと思います。また、農家との接点も多く、自分の試験研究や疑問に思っていることについて意見交換ができることも仕事のやりがいにつながります。

受験者へのメッセージ

畜産試験場、公務員と聞いてもいまいち仕事内容にピンとこないと思いますが、山形の良さ、畜産試験場の良さは来ていただければ直ぐにわかります。

明るく楽しく元気な職場で一緒に働きましょう！ Let it go！

(旧養豚試験場)

平成8年度採用
齋藤友佳 主任専門研究員
(現：庄内家畜保健衛生所)

**担当業務(養豚試験場当時)**

農業総合研究センター養豚試験場は、全国で唯一「養豚」と名のつく、豚に特化した試験場です。試験場のある山形県庄内地域は昔から養豚業が盛んで、地域産業の発展に長く貢献しています。研究員は場長を含め4名(うち獣医師2名)と少人数ですが、豚人工授精の効率化に関する研究や、豚慢性疾病の診断技術開発に関する研究、暑熱ストレス軽減による飼養効率改善技術に関する研究など、生産性の向上に寄与する試験研究を行っています。また、豚の産肉能力検定や優良種雄豚の精液配布等の豚改良事業も行っています。私の現在の担当は、豚人工授精精液の効率的利用法、ならびにローソニア感染症の農場動態に関する試験研究、また試験種豚の計画交配や精液配布、場内の衛生管理や防疫対策と多岐に渡っています。更に学会や研修会等での発表など、技術指導や学術的な活動も行っています。

**県職員としての仕事のやりがい・魅力**

私の仕事は豚に直接触れながら幅広く学び経験して、自分のスキルを高めることができる、そして地域の養豚振興にも携わっていける素晴らしい職種です。また私は県職員として家畜保健衛生所と食肉衛生検査所に勤務した経験もあります。それぞれ目的や仕事内容は異なりますが大きな柱は変わらず、生産者と手を携えて地域へ貢献することが最終目標だと思っています。そこが一番の魅力であり、「ありがとの～」と農家の方から言っていたのが一番の喜びです。

生活面では、公務員は手当や休暇制度が充実しているのはご存じだと思います。私は現在中学生と小学生の子供がおり、どちらの出産後も育児休暇を取ることができました。しかし何より職場の方々の理解と支えがあったため、仕事も頑張りながらしっかり育児もすることができました。子供たちはそんな頑張る母の姿を見て育っていると思います(?)。また男性でも育児休暇を取ることができ、実際に取っている職員も増えてきています。

**受験者へのメッセージ**

仕事も家庭も両立できる環境の中、自然豊かな山形県で獣医師として、公務員として、家庭人として、充実した魅力のある仕事を一緒にしてみませんか？

研究発表

●農林水産部

「畜産関係業績発表会」 令和元年度発表演題

日常業務に関連した事業、調査、研究等の業績について、発表討議を行い、今後の畜産関係事業の改善向上に資することを目的とし、毎年実施している。

- 1 置賜地域における黒毛和種繁殖牛の牛白血病ウイルス (BLV) 対策への取組み
- 2 代謝プロファイルテスト (MPT) を活用した和牛規模拡大農場の支援
- 3 豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS) コントロールによる生産性向上対策の一事例
- 4 山形空港における家畜伝染病侵入防止の為に水際対策
- 5 課題克服に重点を置いた防疫演習
- 6 自衛防疫組織と連携した農場 HACCP 認証取得支援
- 7 動員集合施設設営演習による迅速な防疫措置実施に向けた初動体制の検証
- 8 牛呼吸器病関連ウイルスを検出するマルチプレックス RT-PCR 法の改良
- 9 県内で初めて確認された D 型インフルエンザウイルスによる搾乳牛の呼吸器病
- 10 線維化マーカーを用いた虚弱子牛症候群の病理学的検討
- 11 初産豚産子で認められた先天性豚痘の一症例
- 12 鶏舎内地点別二酸化炭素濃度ならびに風量に着目したブロイラー農場の換気指導
- 13 消毒評価法 (欧州標準試験法) の国内畜産分野への活用

●環境エネルギー部

「食品衛生・生活衛生研修大会」 平成 30 年度発表演題

- 1 と畜場に搬入された牛の住肉胞子虫の感染状況調査
- 2 管内と畜場における健康豚の *Escherichia albertii* 保菌状況及びその疫学的特徴
- 3 サルモネラ症発生農場から出荷された豚のと畜処理体制の構築
- 4 米沢市営と畜場における牛解体処理 HACCP の概要
- 5 猫に関する苦情相談件数の推移と猫多頭飼育崩壊事例について

●受賞歴

東北地区獣医師大会・三学会(地区学会長賞受賞)

「豚抗 *Lawsonia intracellularis*(L.i)抗体検出 ELISA 法の血清疫学調査への応用」 養豚試験場 齋藤友佳 H28

「*Mycoplasma bovis* のマクロライド耐性機構の解明と簡易検出法の開発」 中央家畜保健衛生所 小嶋 暢 H29

「と畜場搬入肉豚から検出された豚丹毒菌の由来調査」 庄内食肉衛生検査所 横内耕 H29

「絨毛心を呈したヒストフィルス・ソムニ感染症例とその発症機序の検討」 中央家畜保健衛生所 古田信道 H29

「山形県内と畜場における健康豚の *Escherichia albertii* 保菌状況及びその疫学的特長」 庄内食肉衛生検査所 佐藤 空見子 H30

東北地区獣医師大会・三学会(東北獣医師会連合会会長賞)

「山形県における犬猫由来マダニのマダニ媒介感染症病原体遺伝子保有状況」 衛生研究所 瀬戸順次 H30

平成 26 年度日本結核病学会(研究奨励賞)

「接触者健康診断における高齢者に対する IFN- γ 遊離試験の有用性の検討」 衛生研究所 瀬戸順次 H26

●公開論文

- Seto J et al.: A case of laboratory cross-contamination of *Mycobacterium tuberculosis* identified by comparative genomics. *Int J Tuberc Lung Dis.*22:1239-1242,2018.
- Komabayashi K et al.: The largest measles outbreak, including 38 modified measles and 22 typical measles cases, Yamagata, Japan, 2017 in its elimination era. *Jpn.J.Infect.Dis.*71:413-418,2018.
- Seto J. et al.: Detection of modified measles and super-spreader using a real-time reverse transcription PCR in the largest measles outbreak, Yamagata, Japan, 2017 in its elimination era. *Epidemiol.Infect.* 146:1707-1713,2018.
- Matoba Y. et al.: The trends of human coronaviruses in Yamagata, Japan, in 2015 to 2016: Occurrence of

各種制度

○研修制度

・農林水産部

家畜衛生講習会（農林水産省主催；主な開催場所 茨城県つくば市 動物衛生研究所）

基本講習会；2 週間

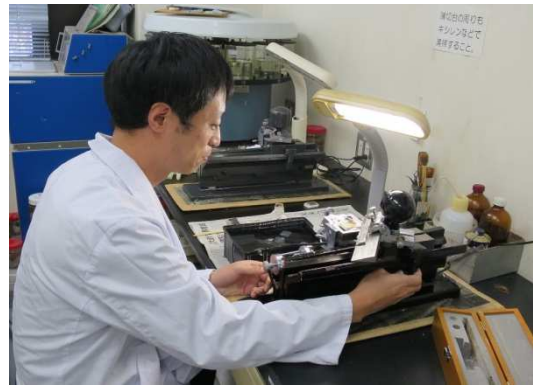
特殊講習会（牛疾病、豚疾病、鶏疾病、獣医疫学、海外悪性伝染病等）4～10日

特殊講習会（病性鑑定；ウイルス、細菌、病理、生化学）；各約 7 ヶ月

・防災くらし安心部

と畜検査員微生物学研修（県単独事業；岩手大学）約 1 ヶ月

と畜検査員病理学研修（県単独事業；日本獣医生命科学大学）約 1 ヶ月



○人事交流制度

農林水産部（家畜保健衛生所）と防災くらし安心部（食肉衛生検査所）間で、概ね 2 年間 互いの職場にて勤務することがあります。

大学講義

高度な獣医学的知識と幅広い視野を有する獣医師は、家畜衛生、公衆衛生等自治体の業務に不可欠な人材であるため、博士号を有する職員等を大学に派遣し、公務員獣医師の職務内容・意義等について講義をおこなっています。

インターンシップ実習の受入

夏休み等の獣医学生長期休暇時に、公務員獣医師のインターンシッププログラムを準備し、大学講義や大学訪問時に希望者からの連絡先の提供を受けた学生にインターンシップの情報提供を行います。このインターンシップを通じて、山形県と公務員獣医師の業務に対する理解を深めます。

H28 年度より、インターンシップ実習に参加する方に、旅費(上限 25,000 円)と宿泊費(上限 1 泊 5,000 円×5 泊まで)を助成する制度を設けました。詳しくは、お問い合わせください。



日本一の芋煮会

特別付録

山形県獣医師のスヌメ 副 読 本

山形県獣医師の生の声

～山形県獣医師会報の記事より～



家畜市場の入場車両消毒

不思議発見やまがた

置賜家畜保健衛生所

県外出身者の山形県獣医師が、
山形の不思議を書いた記事だ
よ！

前号から新企画となった「不思議発見やまがた」第2弾！山形歴20年の庸子先生から、山形歴10年の私へ原稿依頼がまわってきてしまいました。10年前に山形に住み始めた当初は、毎日が“不思議発見やまがた”でしたが、今では、不思議だったことが普通になってしまっていることに気がつきます。久しぶりに10年前を思い出しながら、今に至るまでの不思議と発見を振り返ってみようと思います。

◎不思議な言葉編 ①②

山形に来て以来数々の山形弁に驚いてきました。中でも衝撃的だった言葉が“イチマル・ニマル・”最初に聞いた時はなんだかさっぱりわかりませんでした。諸先輩方に、“マルイチ・マルニではないか？”と物申したところ「そんな風には宮城県だけだ」と言われ、さらに衝撃を受けました。しかし、後日（正確には数年後）某、朝の情報番組で「山形県ではマルイチ・マルニをイチマル・ニマルと言うそうです」と言うことがレポートされていました。やはり、山形だけのようです…。

◎不思議な言葉編 ドンツキ

次に忘れられないのが「ドンツキ」です。ある日、職場からお出掛けの際、場所を説明してくれた先輩が「この道をまっすぐ行き、ドンツキまで行かず…」何も考えずに、目的地へ向かう道すがら、行けども行けども“ドンツキ”という店はなかった…。私は“ドンツキ”というのは何かの店の名前だとばかり思っていたら、皆様ご存じの通り“行き止まり”と言う意味でした。言われてみれば「あ～なるほど」です。

◎美味しい発見編 山菜

山形に来て、これまで食べるものがなかった美味しいものにもたくさん出会いました。そのひとつが“山菜”です。放牧場近辺の藪に分け入り、タラの芽やらハリギリやら素人がわかり、なおかつ灰汁抜き不要の山菜を採ってはその日に天ぷらにするのが春の楽しみです。もちろんワラビ、ミズやウドなども美味しくいただいています。



◎美味しい発見編 漬け物

美味しい漬け物にもたくさん出会いました。義母が漬けてくれる四季折々の漬け物には飽きることがありません。きゅうりの辛子漬けや青菜漬けはご飯が進みます。置賜に転勤になってからは丸なす（窪田なす）の漬け物を食べるようになりましたが、これがまた美味しい！小なす漬けとはひと味違い、皮が柔らかいと我が家でも好評です。参考までに簡単なレシピです。

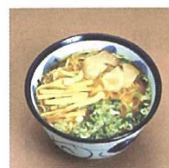
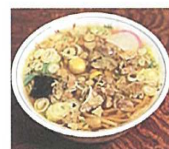
丸なす 1kg※
塩 80g
ミョウバン 適当←適当が一番難しいですが
砂糖 小さじ2

これらを、適当な容器に入れ混ぜ込んでから、水をひたひたに入れ重石をして一晩待つ。あとは瓶に汁ごと入れて冷蔵庫で保管しながら食べます。定番の丸なす漬けは、先に漬け汁（※以外の材料）を煮立てて冷ましたものを、丸なすをぎゅうぎゅう詰めにした瓶に注ぎ、ぎっちり蓋をして冷蔵庫に入れ約一晩で美味しくいただけます。私は漬け汁が冷めるのが待ちきれないため重石を使っていますが、どちらも美味しくいただけますので、丸なすが手に入った時はお試しください。



◎美味しい発見編 ラーメン

美味しいラーメンもたくさん食べてきました。勤務先から新庄定番のモツラーメンに始まり（とはいえ、あまり鳥モツが得意ではないので、モツなしの中華をよくいただいています）、現在は米沢ラーメンにどっぷりはまっています。野菜や鶏ガラ、豚骨そしてたっぷりの煮干し等で出汁をとったあっさり醤油味が定番で、麺は細くちぢれているのが特長で、何とも飽きがこず美味しくいただいています。モツラーメンも米沢ラーメンも、数々ありますがそれぞれの店で味が違い、食べ比べるのがもっばらの楽しみです。



◎美味しい発見編 芋煮

山形に来るまでというか、嫁に行くまで里芋は嫌いな食べものの一つでした。出身である宮城県の“芋煮”といえば味噌味にジャガイモで一般的に言う“豚汁”であり、川原で豚汁を作って食べるのが芋煮会です。山形に住み始めてから“山形の芋煮”を出される機会は多々ありましたが、断り続けほとんど食べることなく過ごしてきました。しかし嫁ぎ先の家族は芋煮が大好き！食卓へ上る頻度高い！最初は芋なしの芋煮汁？を食べていたのですが、徐々に芋の数が増えていき、今では普通に里芋を食べようになり、むしろ美味しいかもしれない…とまで思うようになりました。おそろべし芋煮パワー…。



これから山形に住み続けていたら不思議な山形はどんどん少なくなってしまうんだろうなと思いましたが、美味しい山形はどんどん発見していきたいと思っています。



不思議発見やまがた

置賜保健所

この先生は、静岡から秋田経由で山形にやってきました。雪国生活は始めは大変だったみたい。

この度、「不思議発見やまがた」を書かせていただくことになった置賜保健所の小林です。山形県に就職してから早9年が経ちました。最初は新鮮に感じていたことでもすっかり慣れてしまい、いざ書こうと思ってもなかなか筆が進まず…そこで、とりあえず思いつくままに書き綴ってみることにしましたので、よろしければご覧ください。

まず私の出身地である静岡県と決定的に違うのは気候です。特に雪…18年間で数えるほどしか雪が降るのを見たことがなかった私にとって、雪国の生活そのものが新鮮でした。初めての雪国生活は秋田県鹿角市で過ごした3年間でしたが、幸い当時の職場には、私と同じように県外出身の先輩方が何人かいたので、いろいろアドバイスをいただきながら、昼夜を問わず雪国での楽しい過ごし方を教わりました。また秋田での生活で、それまでほとんど行く機会がなかった温泉が好きになりました（特に冬の露天風呂は最高ですね）。お陰で温泉巡りは私の趣味の一つとなり、山形に来てからも楽しませてもらっています。

山形に来てから、山形市（1年間）、新庄市（5年間）、天童市（3年目）と住居を移してきましたが、やはり県内でも豪雪地域として有名な新庄での生活が一番印象深い気がします。新庄での生活は、冬はさておき、スーパーや飲食店等が適度に集まっていて、とても生活しやすく、何より人が温かいところでした（まさしく住めば都ですね）。さらに新庄といえば夏の新庄祭り！町内会ごとに1年間かけて丁寧な山車（まわし）の見事なこと!!息子も新庄祭りが大好きになり、今でも毎年楽しみにしています。

天童市に住み始めて3年目を迎えています。私の町内では「隣組」という昔からの伝統があるのですが（静岡ではアパート暮らしだったためこのような制度はあまり聞いたことが無かった）、今年度小林家が転居3年目にもかかわらず「隣組長」という大役を仰せつかっています。しかし、近所の方々が右も左もわからない私達一家にいろいろ親切に教えてくださいるので、大変助かっています。多くの支えに感謝しながら、何とか務めを果たしていきたいと思っています。

昨年の4月に内陸食肉衛生検査所から置賜保健所へ転勤となりました。仕事から飲食店等を回る事が多く、昼食は出先で食べることも多くなりました。食べることといえば私の得意分野ですので、山形の「食」について感じたことを書いてみたいと思います。

山形県といえば、まず四季折々のおいしい果物が豊富にあるといったところでしょうか。春のいちご、初夏のさくらんぼ、夏のすいかやメロン、秋はぶどう・柿・ラフランス、冬はりんごとどれもが逸品ぞろいです。

山形に来て初めて食べたものを挙げると、芋煮・玉こんにゃく・冷たい肉そば（ラーメン）・鯉のうま

煮・食用ぎく（もつてのほか）・丸ナス漬け・がっき等があります。そのどれもが現在私の大好物となっています。特に肉そば!!大学5年時の大動物臨床実習で山形に来た時に初めて出会ったのですが、こんなおいしいそばを今まで食べたことがなかったなんて…!何だか人生、だいぶ損をしていたような気がしました。それ以外にも義母の作る山菜料理（ぜんまい煮やサンゴクダチ等）も最初はとても新鮮でしたが、今では酒の肴には欠かせないものとなっています。

そして米沢といえば全国に誇るブランド米沢牛。米沢牛については、いまさら説明の必要はありませんが、おいしいお肉につられてか山形に来てから焼肉を食べる機会が増えたように感じます。周りに焼肉好きが多いということもありますが、初めて3次会で焼肉屋に連れて行かれた時はびっくりしました。が、今では自分が相手を連れて行くことで反対にびっくりされてしまいます。また、米沢では観光客向けに特産品を合わせて米沢のABC（Appleりんご、Beef牛肉、Carp鯉）と称し、定食の名前等にも利用されています。

最近、昼食は外で食べる機会が増えたと書きましたが、今の楽しみの一つにラーメンの食べ歩きがあります。置賜のラーメンといえば皆さんご存知の「龍上海」や「金ちゃんラーメン」が有名ですが、それ以外にも職場の方々からいろいろおいしいラーメン屋を紹介してくれるので、食べた感想等を復命しながら楽しんでます。ちなみに山形県は麺の消費量が全国第一位だそうです。

以上、とりとめもなく書かせていただきましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。これからは日々惰性で過ごすのではなく、日常生活での些細なことについても、新たな驚きや感動、新鮮さを感じ取る姿勢が少しでも持てるようにしていきたいと思っています。なんちゃって(^_^)

最後になりますが、去年米沢は大河ドラマ「天地人」の舞台となり、「2009天地人博（平成22年1月11日まで）」等も開催されています。皆様もぜひ米沢にお越しになっていただき、「愛」と「義」に生きた直江兼続を感じつつ、おいしい食べ物を楽しんでください。



「不思議発見やまがた」

庄内食肉衛生検査所

食べ物とお酒は鉄板の
美味さだよね

山形県獣医師会の皆様、はじめまして、こんにちは。山形県で働き始めて二年目のと申します。この度は、「不思議発見やまがた」を書かせていただくことになりました。地元の神奈川県から山形県に引っ越してきて、早いもので1年以上が経過しました。初めての山形、特に庄内地方での暮らしの中で見聞きして感じたことについて述べたいと思います。

【方言】最初にぶち当たる壁としてみなさん口を揃えて挙げているのが言葉の違いですよね。この「不思議発見やまがた」でもよく取り上げられています。私も引っ越す前は、周囲のネイティブな言葉がわかるだろうか…と怯えながら働きはじめたものです。実際働いてみると、周りのみなさんがとても優しく気遣って話してくださったので、そこまで問題にはなりません。それでもやはり、初めて耳にした方言は数多くあり、その中でも個人的に音の響きが好きな方言を3つ選んでみました。①親と喧嘩したなんて話に出てくる「ごしゃぐ」は、濁音の響きが好きです。②驚いたときに思わず出てしまう「ほんどで」は、醸し出される雰囲気がかわいいと思っています。③たくさんご飯を食べた時にお腹の具合を表現する「くっちい(くつつい)」も、響きが可愛くて好きです。これらの言葉をはじめとした方言は、山形での暮らしの中で繰り返し聞くことで、なんとなく意味を理解できるまでになりました。今では引っ越す前の自分は心配しすぎだったなと思います。また単に言葉の壁と言っても方言の有無だけでなく、文化の違いによる影響も大きいなと感じました。最近知ったことなのですが、庄内地方では「油揚げ」と言うのと四角い厚揚げのことを指すようですね。逆に、味噌汁の具やいなり寿司に用いるお揚げのことは「薄揚げ」と言うそうで、大変驚きました。道理で、庄内人の方から孟宗汁のレシピを聞いた時に混乱したわけです。春は孟宗汁、秋は味噌で仕上げた芋煮など、庄内の食卓にとって厚揚げは欠かせない具材ですから、「薄揚げ」よりも一般的ななのでしょうね。

【食べ物】孟宗汁は、昨年春に職場の親睦会で、当時の所長である佐藤利雄さん手作りのものが初めてでした。三瀬で採れた立派な孟宗筍がゴロゴロ入っており、一つ一つが大きくカットされていたのが印象的でした。言うまでもないですが大変美味しかったです。あれから一年、今年の春は遊佐の孟宗筍を手取することができたので、庄内人の方の意見とネットのレシピを参考にしながら自宅で作ってみました。丸のままの筍を調理する経験はゼロだったので、庄内暮らしによって得られた貴重な経験だと感じています。調味は自分好みにより濃い目にしたので、大好きな白米さえあれば三食過ごせるくらいの満足感でした。我が家のお米はつや姫と決めているので、山形を堪能するのにこれ以上ない組み合わせです。使い切れなかった孟宗筍は、たけのご飯や煮物、チンジャオロース、和え物、バター炒めなどにして余すことなく味わうことができました。



その他の山形グルメとしては、さくらんぼやだだちや豆、山菜、しそ巻、鳥中華、芋煮、玉こんにゃく、干し柿、寒鰯汁(どんがら汁)など、挙げ始めるときりが無いですが、まだ知らない山形のふるさとの味がたくさんあると思うので、これから周囲にも教えてもらいながら勉強していきたいです。

【お酒】米どころ山形と言えば、世界に誇る日本酒で有名ですよ。実は山形に来るまで日本酒を飲むことは少なく、むしろ苦手な部類だったのですが、今ではすっかり山形の日本酒の虜です。様々な飲み会で飲む機会が増えたことと、職場の方から教えてもらった限定日本酒の頒布会に申し込んだことがきっかけでした。頒布会では毎月異なる組み合わせで、6種類の県内の銘柄の限定酒を楽しめて、贅沢にも飲み比べることができます。私は辛口のもののが好きなのですが、普段は買わない甘口のものも飲んでみるとやはり美味しく、この頒布会のおかげで多くの味を知りました。それでも好きな銘柄が入っているといい嬉しくなったり、もったいなくて飲めなかったりしますが……。山形県は日本酒以外にワインも有名ですが、地ワインは未開拓なのでこれから挑戦していきたいです。



山形県での初めての一人暮らしでの思い出は、ほとんど飲食に関することばかりでしたね。地元の新鮮な食材が手に入ると自炊が楽しく、家で料理とお酒を味わうことが毎日の楽しみになっていきました。これからは食だけでなく自然や信仰などの山形の文化も味わってみたいです。また食文化としても、家で手作りするだけでなく、県内各地の気になる飲食店を巡ってみたりお取り寄せをしたりしてさらに楽しんでみたいです。



～県内で活躍する女性獣医師の声～

置賜家畜保健衛生所

県内の女性獣医師の声だよ！
家庭と仕事の両立は苦しい!!

第2回目の原稿の依頼を頂き、やはり何を書こうか迷ってしまいますが、獣医師歴5年半、嫁歴3年、母歴1年半の私が女性&獣医師として思っていることなどをちょこっと書いてみます。

現在の私の生活を考えると、仕事・育児・家事の3本立て。まず仕事についてですが、1月に育児休業から復帰し、やさしい上司や立派な後輩が助けてくれることに感激でした。子供の病気で急に休んでも嫌な顔せず心配してくださった皆様にここで深謝いたします。私の課題の一つは、農家さんに名前を覚えてもらうこと。これまでは、家保の女性という置賜ではレア感があったようですが、新規採用の半分は女性であり普通の存在になってしまった今、農家さんに名前や特徴を覚えてもらえるよう奮闘しています。電話などで初めてしゃべった方に、家保の女性というだけであなたとは会ったことあると間違われるのはちょっとさみしいものです。やはり、めがねかけだおもしろい女の先生（私の新採の時の上司です）と言われるような自分の色をもたないといけないんですね！

次に思っている事ですが、男性獣医師同様に働いてはいるつもりでも、共済の某T中獣医師も前号で書いていたようにやはりパワーではかなわないのです。旅館にマイ浴衣を持参する背の高い某E老名先生が黒の繁殖牛から採血する姿を見ると、牛って小さいし大人しいのかと錯覚してしまいますが（繁殖牛が育成に見える…）、私にとっては大きな猛牛…。身長158センチで同年代女性の平均身長であるはずの私ですが、自分のちびや非力さを実感してしまうのでした。〇ートキャンプ+バランスボールで体を鍛えても、勝ち目はなさそうです。しかし、それは農家さんや関係者から見ても同じらしく、見ていて不安なのでしょう、おかげで牛をしっかりと押さえつけてくれます。黒の首からの採血ばかりか、ホルのしっぽ採血の時にしっぽを上げてくれるほど。自分で上げた方がやりやすいかも…と心の隅では思いな

がらも、有難く協力していただいております。これは、男性にはないことですよね。

ついでに、子供を産んでから牛を見る目が変わりました。搾乳牛を見ては、乳出すって大変で痩せちゃうよね、乳房炎って辛いよね（経験者は語る）、妊娠牛を見ては大事にしるよ、あまり太るなよ（産婦人科で子供が出てくるのが大変だから太ると嚴重注意を受けていたので）と心の中で語りかけるようになりました。前よりも、牛達にやさしくなった私でした。

そして、次に家庭とひとくくりにしてもいいような育児と家事ですが、これがまた私の大きな課題。仕事の時には助けてくれる方々がいる…しかし、アパートで、おまえてまめ知識あるよな…それって獣医学なんです、と私の獣医学をまめ知識呼ばわりする旦那さんとの2人住まいな現状ではなかなか頼れるヒトもおらず（お互いが頼れないので…）、これまたいっぱいいっぱいな毎日です。寝かしつけの途中で力尽き、電気つけっぱなしで親子3人寝てしまうことはざらで、洗濯もだれかの何かがなくなったら回す始末。書けば限りない悲惨な状況はこれくらいにし、家庭と仕事の両立は、どちらも未熟な私にとっては大変なものでした。



※ 8月、病気ばかりしている彼女の夏はベランダで水浴びで幕を閉じました（1歳5ヶ月頃）

～県内で活躍する女性獣医師の声～

内陸食肉衛生検査所

この先生は、旦那さんも山形県獣医師だよ。

きっかけ

獣医を志したきっかけは、小学生のころ、友達の飼い犬が目の前で交通事故で死んだことでした。ペットを亡くして悲しむ友人を見て、漠然と獣医という職業が浮かんできたのです。そこで小動物臨床を目指すのかと思いきや、小学校の卒業文集には「10年後のわたしは、獣医になり、アフリカで野生動物の診療をしているだろう」なんて書いておりました。

挫折？

大学で獣医学を学ぶうちに“人のための獣医学”に魅力を感じ、畜産業を支えよう！と、大動物臨床を目指しました。6年生の春休みに山形のNOSAIで1週間実習をさせていただきました。置賜での実習は、先生方に大変お世話になり、毎日楽しく学ばせていただきました。いよいよ受験。意気込んで受けたのですが、残念ながらNOSAI山形初の女性産業獣医にはなれませんでした。試験問題に、税金のことがでて、さっぱり書けなかったことを記憶しています。

そして、大学でつきあっていた今の夫に勧められて受けていた県に拾ってもらったのでした。

公衆衛生獣医

大学時代は、一切公務員に興味を持たなかったので、正直、どんな仕事をするのか全くわかりませんでした。試験のときは、「第一次産業である畜産業を支えたい」などと書いたような気がします。そう、農林サイドで働くことを考えていました。

ところが、内示の日告げられた勤務先は、新庄保健所。食品衛生監視員という職業があることを知らなかった私は、引越しの手伝いをしてくださった上

司が台所の構造に興味を示すのを不思議な気持ちで見えていました。

行政用語にもなかなかなじめず、読み始めると眠くなる資料。わからないことがあっても、上司には「調べなさあい」と言われ、どこを見たらいいものやら途方に暮れる日々でした。

こんな私も、1年を過ぎたころから仕事の楽しさがわかり始め、2年目は、自分でいうのもなんですが、バリバリ働きました。

それから10年間、保健所勤務をしましたが、その間、何件もの食中毒事件と遭遇しました。

“食中毒かも”という探知の電話がかかってきたときの緊迫感、初動調査に向かうときの高揚感、調査が進み、情報が集まってきて、行政処分の判断、原因の究明、再発防止のための指導、これらを並行して行っているときの充実感。かなり、やりがいを感じる仕事です。

「食事をする」この当たり前の行為で健康を害し、苦しい思いをするなんて、まして、命を落とすなんて、あってはならないことだと思います。あってはならない食中毒事故を減らすための、営業許可事務であったり、収去検査であったりと、保健所の通常業務があるのです。

ごく稀に、苦情の電話で理不尽な思いをすることがありました。そんな時は、10分の電話であとの半日気が重くなり、仕事に集中できなくなったりもしましたが、とにかく初めての人と話す機会の多い仕事で、たいがいは新しく店を建てたい、自宅を改造して飲食業を始めたいといった前向きな相談者です。お役にたてるようお話させていただくことは、とても楽しかったです。また、保健所では、いろいろな職種の人と一緒に働くので、さまざまな視点、考え方に触れることができました。